

2 自然や風土と共生する安心で豊かなまち【生活環境】

【新規】 第4分団詰所整備事業	事業費 1億252万円
老朽化している有明方面隊第4分団詰所を移転新築し、非常時の確実な出動及び消化体制の充実を図ります。	
【増額】 市内高等学校魅力化支援事業	事業費 211万円
県立志布志高等学校の生徒数の確保に寄与するため、地域みらい留学に参加し、同校の生徒数の確保及び魅力化を図ります。	
【増額】 環境保全推進事業	事業費 300万円
適正にごみステーションの管理を行ってもらうため、資源ごみ分別報奨金を増額支給します。	

- 移住交流支援センター「エスプラネード」を中心に、都市圏での移住相談会への参加や移住に関する相談、支援をサポートし、移住支援制度や地域の魅力などの情報発信の充実を図ります。
- 本市独自の保育と暮らし体験がパッケージ化された「保育園留学」をきっかけとして、長期的な関係人口を創出し、二地域居住の推進を図ります。全処理区において経済性の効率化、経営基盤強化のための取組を推進します。
- 自然環境にやさしいまちは、環境問題やエコ活動を紹介する環境フェアを開催し、脱炭素社会の実現に向けた取組を周知するとともに、市民・事業者・行政が一体となった取組を進め、地球温暖化防止に向けて取り組めます。
- 防災行政無線やJアラート受信機など、迅速かつ確実な情報発信ができるよう、定期的な機器の点検を行い、耐震性貯水槽や消火栓など新たな消防水利施設を設置し、初期消火体制の充実を図ります。

3 大地の力と海の恵みを生かした魅力あふれるにぎわいのまち【産業経済】

【増額】 さんふらわあ志布志航路利用促進事業	事業費 400万円
さんふらわあ志布志港寄港50周年を記念して、運賃半額キャンペーンを実施します。	
【増額】 シティセールス事業	事業費 300万円
特産品をきっかけとした効果的かつ効率的な情報発信を行うために、地域活性化起業人制度を活用し、本市の関係人口や交流人口の増加に取り組めます。	
【新規】 稼ぐ農力支援事業	事業費 3,000万円
農家の稼ぐ力に必要な、省力化・高品質化のための資機材の導入を支援します。	

- 雇用・就労の支援対策は、企業の人材不足の解消や雇用促進を目指し、合同企業説明会の実施や学生のインターンシップへの支援等を行います。
- サツマイモ基腐病は、様々な対策を講じてきたことにより被害が減少傾向にあることから、引き続き土層改良等を支援しながら、対策の基本である病原菌を「持ち込まない、増やさない、残さない」ことに重点化して取り組みます。
- 「しぶし茶」のブランド力の向上を図るため、全国及び県茶品評会への出品支援と消費拡大に向けた支援に取り組めます。
- 新たに開業を目指す事業者を支援する商工業開業支援事業と、売上向上を目指す新たな取組を行う事業者を支援するチャレンジ補助金交付事業により、引き続き経営力の強化を図ります。
- ふるさと納税は、本市の特産品を全国の方にお届けすることに、より本市の魅力を知っていただき、地域資源の活用と振興につなげながら、安定的な財源の確保に引き続き取り組みます。

主要施策の概要

第2次志布志市総合振興計画のまちづくりの基本目標に沿って掲載します。

令和8年度当初予算は、市長選挙時期を踏まえた骨格予算（※）としての予算編成でした。

令和8年6月の定例会は、肉付け予算となる第2号補正予算で歳入歳出予算にそれぞれ6億4,524万7千円を追加し、2号補正後の歳入歳出予算はそれぞれ314億5,628万2千円となりました。

今回の補正予算により、政策的な事業の予算が計上されましたので、その主なものをお知らせします。

※ 骨格予算とは、市長や市議の選挙時期などの関係から政策的な判断ができていないなどの事由により、政策的な経費の予算計上を避け、義務的経費や経常的経費を中心に編成された予算のこと

■問い合わせ先： 総務課 財務グループ TEL 472-1111（内線 430・431）

1 「郷と郷」「人と人」「物と物」のつながりがあるまち【都市基盤】

【新規】 空家対策推進事業	事業費 150万円
地域活性化起業人制度を活用し、空家発生から予防までの総合的な空家等対策を実施します。	
【増額】 志布志港振興事業	事業費 400万円
志布志港の整備促進及び利活用を推進するため、市長トップセールスの実施及び志布志みなとセミナーを開催します。	

- 志布志港の国際バルク戦略港湾の早期供用開始や原木流出防止などの安全対策の実施及び令和7年度に改訂された港湾計画の早期事業化についての要望活動を行います。
- 令和7年3月に策定された志布志港長期構想にある、「港に人流・賑わいを形成する」ため、港を核に交流が生まれ、にぎわいと活気があふれるよう、「釣り文化振興モデル港」としての取組などにより港の利活用を図るとともに、クルーズ客船の寄港誘致についても積極的に取り組めます。
- 東九州自動車道路は令和6年度に全線が事業化され、建設工事が進んでおります。鹿児島・宮崎の両県をまたぐ区間の早期全線開通に向け要望します。
- 「チョイソコしぶし」は、アンケート結果を基にした運行や停留所の見直しなど、利用しやすい環境を整備し、更なる利便性の向上を図ります。
- 計画的な土地利用やにぎわいのある市街地・機能が集約されたコンパクトなまちづくりを進めるために、今年度、立地適正化計画を策定し、まちづくりの指針とします。
- 昨今多発する都市型水害に対し、都市部の水路を雨水公共下水道と位置付け、限られた財源で早期解消・軽減を図るために、本年度からの2年間で雨水総合管理計画を策定します。
- 空き家や空き地などの解消に向け、令和8年4月に締結した民間事業者との連携協定により、処分したい方と取得したい方とのマッチングを促進します。
- 高度情報化へ対応したまちにつぎましては、公共施設へ公衆無線LANの整備を年次的に進め、災害時の避難所開設での利用など、ICTによる利便性の向上を図ります。